

『スポーツは生きる力』  
「2020年11月1日発行」

2020年11月1日発行  
東京オリンピック  
東京パラリンピック  
東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック

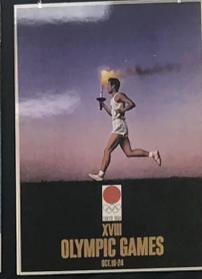
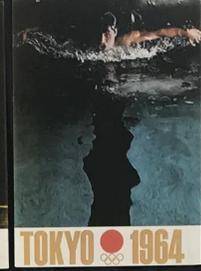
東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック

東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック

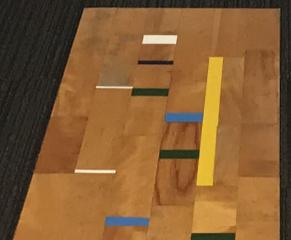
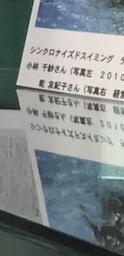
東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック

東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック

東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック



東京2020オリンピック  
東京2020パラリンピック





2020年度立命館大学図書館展示企画

# あなたがスポーツと出会うとき

開催期間:2020年7月31日(金)~10月7日(火)

みなさんがスポーツと初めて会ったのはいつのことでしょう?

幼少期に夢中になった漫画やアニメやゲーム、近所の友達との遊戯を通じて、あるいは習い事、運動会、地域のスポーツ少年団への参加などスポーツとの初めての出会いから、みなさんは見る側プレイする側を問わず様々なスポーツを経験してこられたのでないでしょうか。

本展では、大学におけるスポーツとの出会いの場として、体育会などの大学スポーツに焦点を当ててみました。本大学では、体育会公認クラブが56、体育会同好会が5、登録団体は141と、合計202もの団体があり、直近の大学のデータによれば3,000人弱(学生数の9.1%)の学生が大学スポーツ団体に所属して活動しています。

本展は、そうした本大学の学生たちが、所属するスポーツ団体に日々の練習に励み、そこで育んだ力を本番や公式戦で発揮するために懸命に努力していることを、広く皆さんに知っていただきたくという趣旨で企画を行いました。本展は4つのテーマを設定しています。本展の開催にあたり、学内関係部署や大学スポーツ団体OB、先生など多くの方からご協力をいただきました。

新型コロナの影響により学生たちは、公式戦はおろか練習すら覚束ない状況にあります。皆様におかれましては、本展示の鑑賞を通じて、スポーツに打ち込む学生たちの情熱と学生スポーツの素晴らしさを感じていただきたいと思っております。また今後のコロナ禍を乗り越え、練習の見学や試合観戦が可能となった際には、ぜひ各団体の活動場所へ足をお運びいただき、応援いただきたいら幸いです。

## 【テーマ】

1. 『たった1度の箱根駅伝 - 東京オリンピックの年、立命館大学が走った』
2. 『スポーツは生きる力 - はばたけ障害者スポーツ -』
3. 立命館とオリンピック - 戦後のオリンピック・パラリンピックを中心に
4. 本学体育会の歴史と現在の活躍

【主催】立命館大学図書館

【協力】立命館大学史資料センターオフィス、スポーツ強化オフィス、校友・父母課

●京都衣笠の地に、社会科学のあたらしいパラダイムを創造する政策科学部を新設。●情報化時代に対応するインテリジェントキャンパス「びわこくさつキャンパス」開校。●テックロロジーの進化に合わせて理工学部を再編拡充。●生物工学科・環境システム工学科・情報科学科を増設。●来春、立命館大学が21世紀に向けて大きく動き始めます。

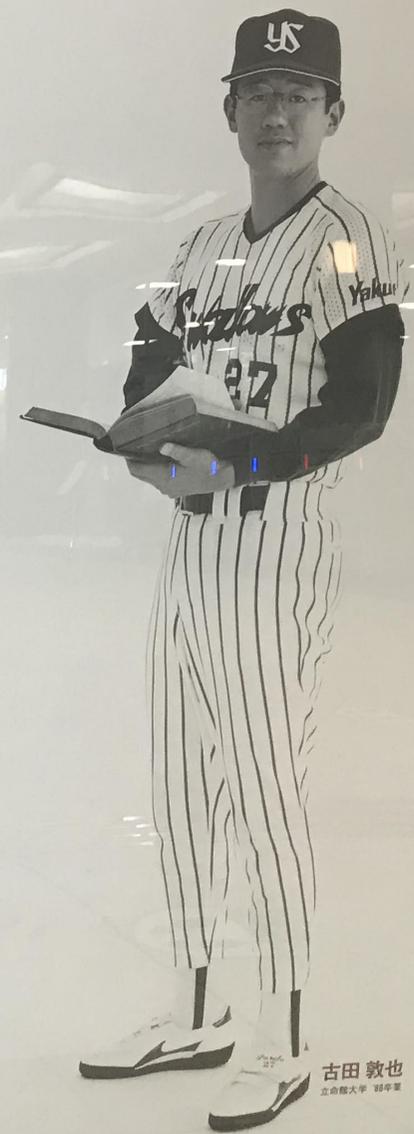
(一部) 法学部・経済学部・経営学部・産業社会学部・国際関係学部・文学部 (二部) 法学部・経済学部・経営学部・文学部  
 入学願書発売中 入学願書発売中 入学願書発売中  
 〒603-8501 京都市北区神門北町 TEL:075-465-8111

歴史の中で、いつも新しい  
**立命館大学**



このポスターは、本学OB(経営学部1988年卒業)である古田敦也氏(当時・ヤクルトスワローズ)をお招きし、1993年1月21日に開催された本学学生課主催の「来学歓迎会」、本学硬式野球部OB会主催の「MVP受賞祝賀会」のために、作成されたものです。

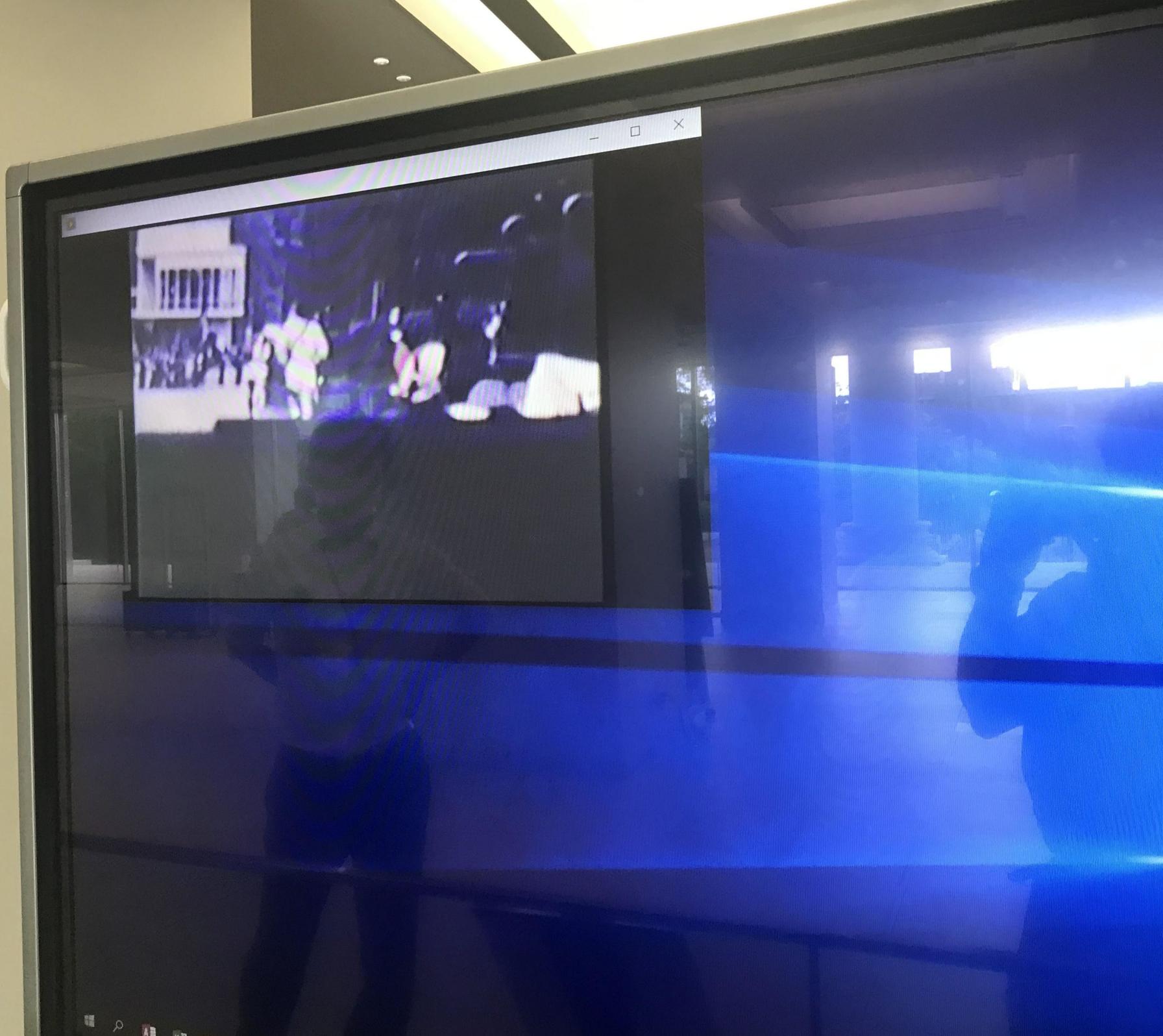
# ぼくの母校も大したものだ。



古田 敦也  
立命館大学 88年卒

# ぼくのチームも大したものだが、

めるよ!



# やんとく日記

芝田 徳造

## その8『箱根駅伝』復路

### 半数が1年生 強豪相手に大健闘！

昭和39年(1964)1月3日午前8時、第40回東京一箱根間往復大学駅伝競走の2日目(復路)の試合が開始されました。天候は前日の快晴と異なり開始時は曇天で、途中の9区からはみぞれが降る悪コンディションの中でのレースとなりました。

まず復路最初の6区(箱根～小田原)は2年生の村井君が、前日7位の法政大学に24秒遅れで8番目に出発しましたが、明治大・早稲田大に抜かれ10位で7区(小田原～平塚)の2年生米井君に引き継ぎました。米井君は追い上げてきた順天堂大の小石選手と20分以上も並走し、帖佐順大監督が舌を巻くほどの粘りを見せましたが、最終的には順大に抜かれ11位で8区(平塚～戸塚)の1年生木村君に引き継ぎました。木村君は苦戦しながらも11位を死守して9区(戸塚～鶴見)の1年生古村君に引き継ぎました。古村君はおりからのみぞれの降る最悪のコンディションのなかで健闘しましたが、専修大・東京教育大に抜かれ、13位で最終区(鶴見～東京)の1年生の原田君に引き継ぎました。原田君は東教大の山路選手と死闘とも言えるべき並走の後これを抜き去り、大ブレーキの福岡大も抜いて11位で読売新聞社前にゴールしました。

関東の選り抜き強豪と福岡大を含む17チームの中で11位と言う成績は、10人中5人が1年生の本学チームとしては上出来と言えそうです。これは選手諸君の絶大な努力と共に、大学当局及びOB各位の大きな支援がこれをバックアップした結果と言えます。

最後に財政的な面で大変な努力をされた山上助監督(当時)と、関東の強豪大学主務と対等に渡り合いこの大仕事を一人で切り回してくれた主務・岸野君に深甚の謝意を表したいと考えます。(つづく)

立命館大学総合タイム 第11位 12.09.41		往路タイム	復路タイム	
往路 第1区	第2区	第3区	第4区	第5区
⑦1.06.34	⑨2.26.14	⑩3.31.43	⑨4.37.30	⑩6.03.44
伊藤 浩敬 1.06.34	⑨鈴木 謙 1.19.40	⑨鷗冠井史郎 1.05.29	⑨舟橋 一夫 1.05.47	⑩川越 己 1.26.14
復路 第6区	第7区	第8区	第9区	第10区
⑩7.20.28	⑩8.28.08	⑩9.35.59	⑩10.58.20	⑩12.09.41
⑮村井 雄二 1.16.44	⑮米井 勝秀 1.07.40	⑩木村 祐三 1.07.51	⑩古村 正昭 1.22.21	⑩原田 睦三 1.11.21

